

去りゆく秋、そして巡りくる冬、そんな趣深い好季節になってまいりました。毎度格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

季節のご挨拶かたがたダイレクトメール冬号をお届け申し上げます。わが遙かなる「天ノ岩戸開き」人生も、いよいよ大詰めとなってまいりました。心ある同胞各位には、同封小冊子3、4ページの救世超重大論文『「天」に代わって、徳仁皇太子を叱り飛ばす』を、是非ともご精読頂きとう存じます。

世間が、私播磨屋助次郎のことを「狂気」だと噂うわさしているのは、十分承知致しておりますが、この論文論旨の一体どこが「狂気」なのでございましょう。

「天」か「神」か「仏」か、そんな呼び方はともかくとして、我々人間が何らかの「大いなる力」によって生かされていることは、巖然たる事実でございします。

この真実をきちんと教える指導者（本来は天皇）がいないばかりに、不自然かつ全く無意味な金儲け競争などにのめり込み、真にかけがえのない母なる地球を破壊し続けている世間の方が、よほど「狂気」なのではございませんでしうか。

そしてまた、全人類に蔓延まんえんしたそんな恐るべき妄念（狂気）を一掃し、生命いのちの星この地球を、元通り「天」の理想郷に戻せる生身なまみの人間（実在の救世主）は、次代徳仁天皇以外にはないと言いつつ続けているのもいるのでございします。

これも、こんな私の考えの一体どこが「狂気」なのでございませう。「狂気」と思うのなら是非、代案を提示してもらいたいものでございします。

ともあれ、またいつものように年末年始のご用をおうかがい申し上げます。誠に恐縮ながら、送料システム改定の件、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成二十九年 十一月

りんどう咲くころ

あるじ

播磨屋助次郎

敬白